

キッチン・ダイニングにおける 生活実態調査2024

パナソニック調査(2024年3月発行)

2024年2月実施

調査方法：インターネット調査

調査対象：都市圏において対面キッチンを使用しており、週に3日以上夕食を作る30代～60代女性300人

調査概要

N=300

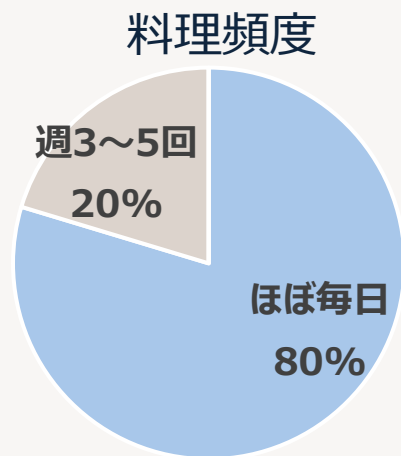
対象：都市部在住で週に3日以上家族や同居人の食事を作り、
対面キッチンを使用している30代～60代の女性

調査実施：2024年 2月

設問：全15問

<回答者>

年代	N	%
30代	53	18%
40代	93	31%
50代	104	35%
60代	50	17%

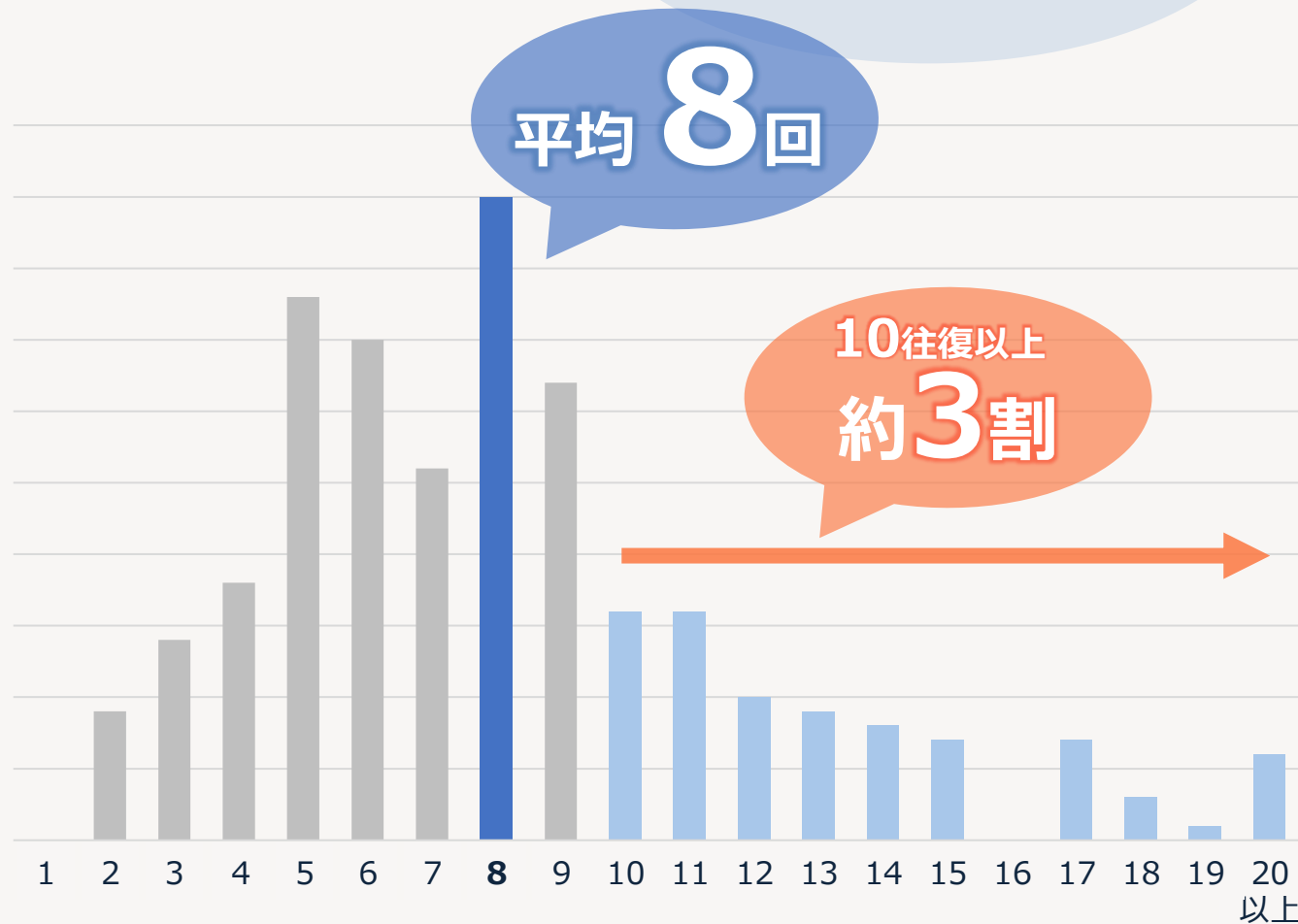


ダイニングとキッチンの往復回数

Q.食事前、食事中、食事後で ダイニングとキッチンを何回往復しますか

食事の際には
対面キッチンでも
何度も
キッチンとダイニングを
往復している

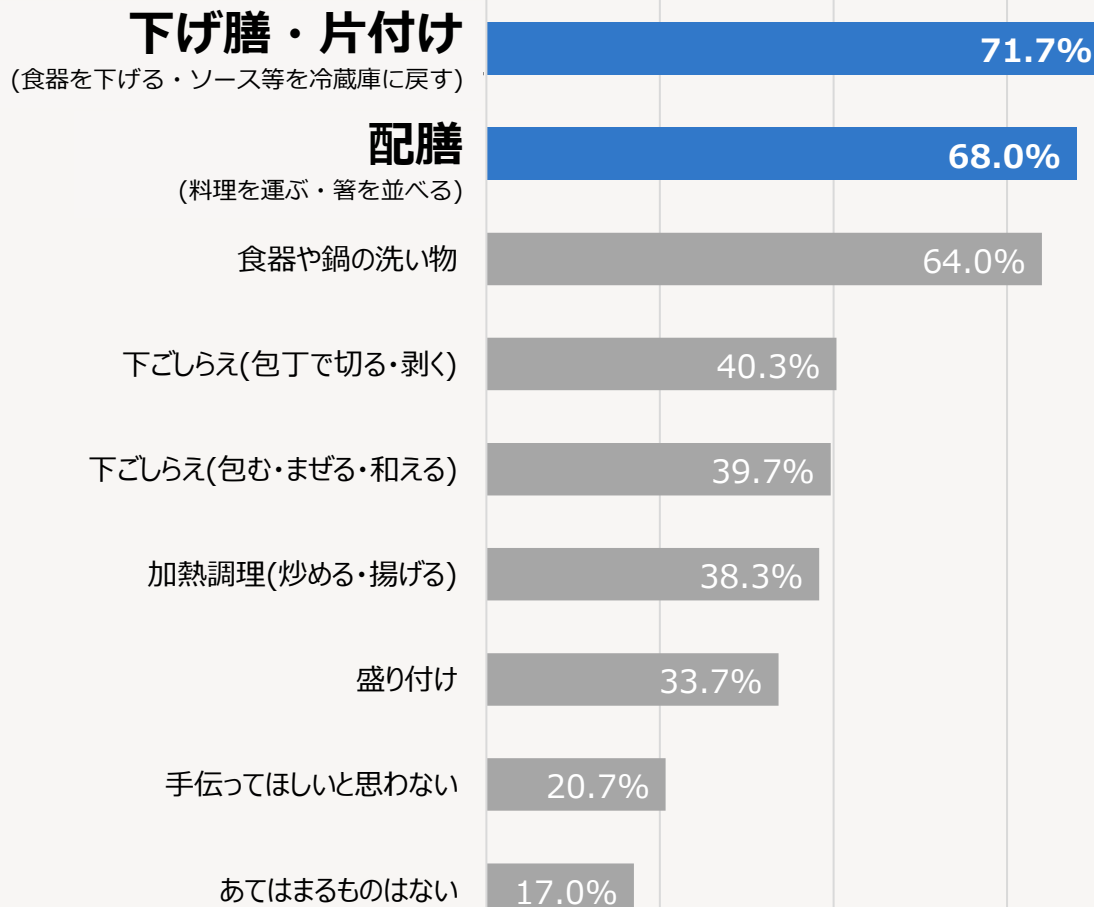
- 食事の配膳・下げ膳
- 箸・スプーン・調味料・お茶などを取りに行く
- おかわりや温め直し …



本当に「手伝ってほしい」こと

Q.子ども・その他家族・同居人にどんなキッチン作業を手伝ってほしいですか

切ったり炒めたりといった調理作業よりも
**食事前後の
お手伝い**
を家族に求めている



配膳の主体者

Q.主に配膳するのはどなたですか

配膳は

「自身で行う」が81%
調理を終えて配膳する
までを1人で行っている
(=ワンオペ)実態

ご自身とご家族/同居人
(自分の食べる分を配膳する)

14%

ご家族/同居人

5%

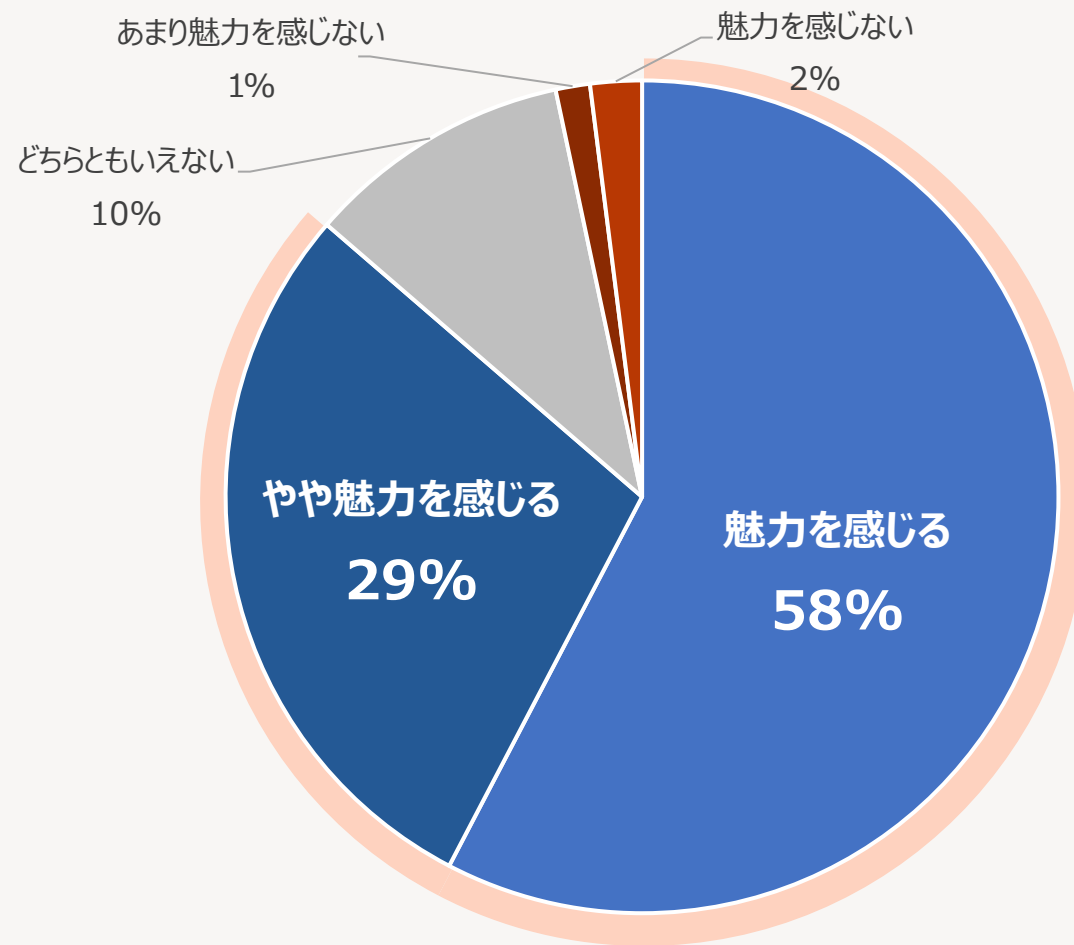
ご自身
81%



一緒に出来たてを食べ始める魅力

Q.調理される方ご自身が家族と一緒に食事を開始することができ、【アツアツ（出来立て）】の料理を食べられることに魅力を感じますか

家族と一緒に
出来たての料理を
食べ始めることに
「魅力を感じる」が
87%
アツアツをみんなで
「いただきます」が理想

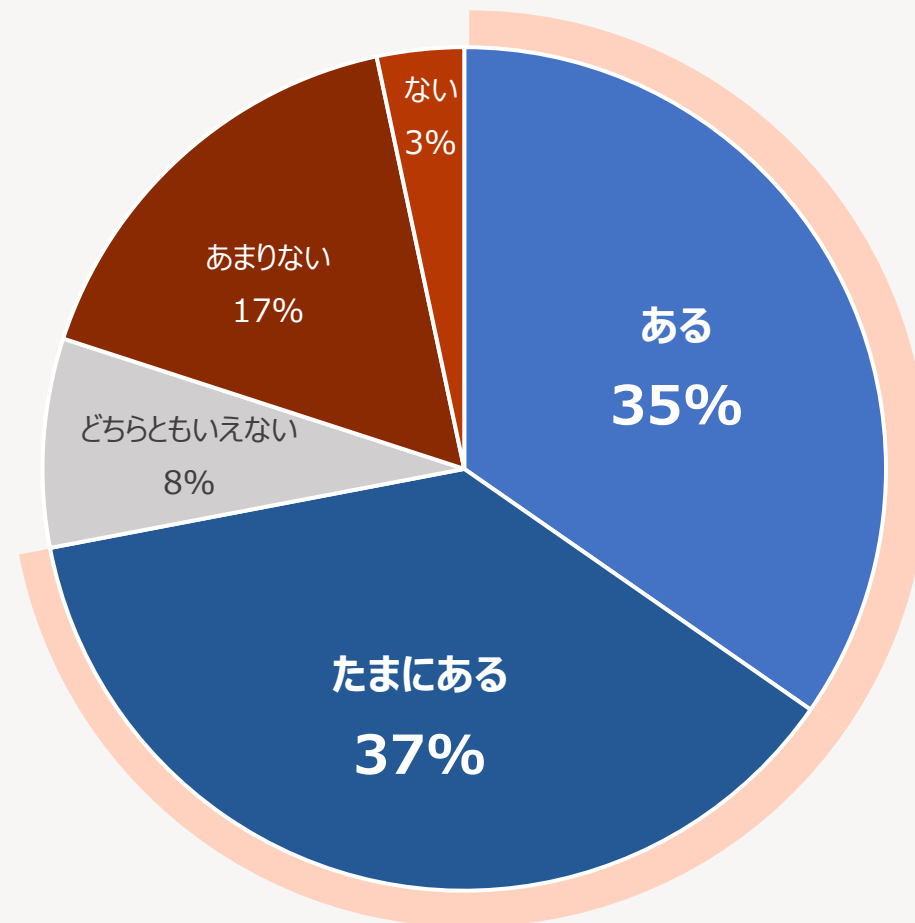


「出来たて」を食べられていない実態

Q.配膳や調理をしている間に、ご自身の食事が冷めてしまったという経験はありますか

出来たてを食べたい！
アツアツが理想的！
なのに

72%の方が
配膳・調理の間に
「自身の食事が
冷めてしまった」経験あり

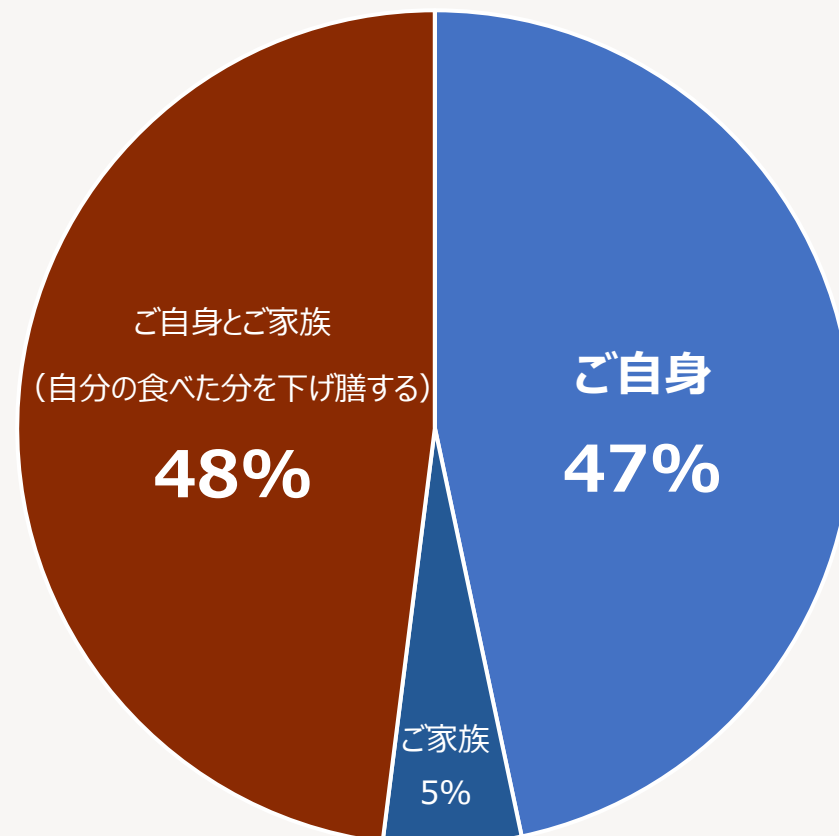


下げ膳の主体者

Q.主に下げ膳をするのはどなたですか

約半数の方が
下げ膳をすべて
ご自身で行っている

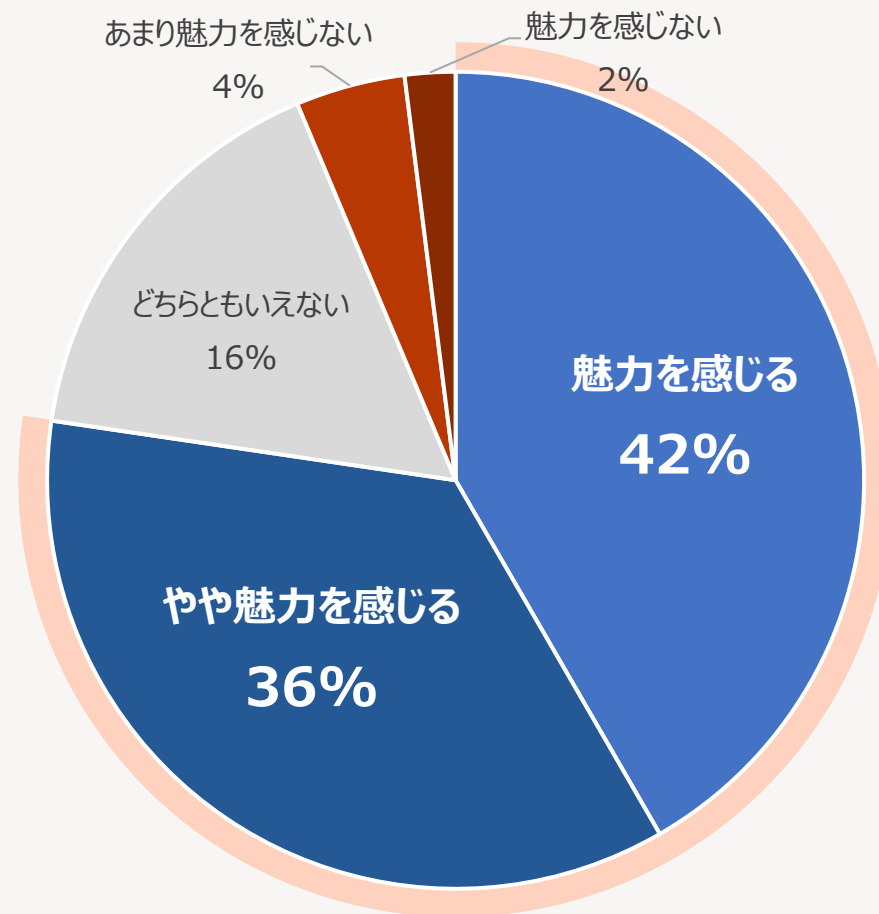
「自分の食器は自分で
下げる」…ことは
必ずしも当てはまらない
という実態



「ごちそうさま動線」の短さの魅力

Q.ダイニングテーブルからシンク(流し)、または食器洗い乾燥機までの距離が近いことに魅力を感じますか？

ダイニングテーブル
～シンク・食洗機の
距離が近いことに
77%の方が
「魅力を感じる」と回答
片付けを手伝ってほしい
という気持ちの表れか



「ダイニングテーブルとキッチンの距離」の大切さ

Q.ダイニングテーブルとキッチンとの距離が近づくことで家族の協力が得られやすくなると思いますか？

ダイニングテーブルと
キッチンの距離が近づくことで
「家族の協力を
得られやすくなると思う」と
60%の方が回答
距離の短さはお手伝いを
促すのに大切である

